

# 第 10 章

電気・ガス・上下水道

## 第 10 章 電気・ガス・上下水道

### 電気

平成14年度における電灯需要の契約口数をみると、480万6746口にのぼり、前年度の477万3150口に比べ0.7%(3万3596口)の増加となった。その内訳をみると、従量制が413万5073口(前年度比0.8%増)となっている。また、使用電力量は193億5082万kWhで、前年度に比べ2.5%の増加となり、1口当たりの年間使用量は4026kWh(前年度比1.8%増)となった。

一方、電力需要についてみると、契約口数は53万342口で、前年度に比べ1.3%の減少となった。使用電力量は403億5960万kWhで、前年度に比べ0.2%の増加となっている。

### ガス

平成14年度中の大阪ガス株式会社における都市ガスの生産量は54億2447万m<sup>3</sup>で、前年度の51億970万m<sup>3</sup>に比べ6.2%の増加となった。

また、消費量は41億788万m<sup>3</sup>で、前年度に比べ4.6%の増加となった。これを内訳でみると、工業用が19億5193万m<sup>3</sup>で、前年度に比べ6.6%の増加となり、商業用が5億9627万m<sup>3</sup>で、前年度に比べ1.9%の増加、公用が1億6630万m<sup>3</sup>で、前年度に比べ3.5%の増加、医療用が1億3266万m<sup>3</sup>で、前年度に比べ16.7%の増加となり、家庭用が12億6072万m<sup>3</sup>で、前年度に比べ2.4%の増加となっている。

なお、大阪府内の需要家の総数は374万4096戸で、前年度に比べ1.1%の増加となっている。

### 上下水道

・上水道 平成14年度における上水道の総給水量をみると、年間給水量は12億8139万m<sup>3</sup>で、前年度に比べ1.5%の減少となっている。これを地域別にみると、大阪市地域が4億8736万m<sup>3</sup>で、全体の38.0%を占めている。

栓数は303万7504件で、前年度に比べ0.4%の減少となっている。

また、1人1日平均給水量は403lで、前年度に比べ1.5%の減少となっている。これを市町村別にみると、1位が大阪市の519lで、以下、泉佐野市の457l、岬町と美原町の417lの順となっている。

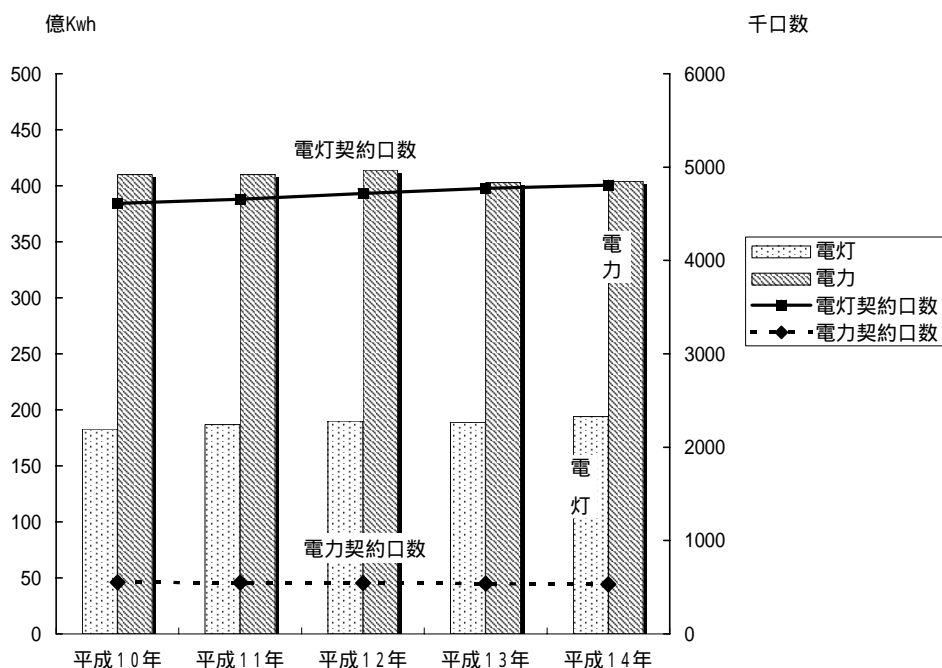
工業用水の使用状況をみると、1日当たりの総使用量は、前年比8.9%減の763万1950m<sup>3</sup>となっている。

このうち、淡水の使用量は713万1849m<sup>3</sup>で、前年に比べ9.4%の減少となっており、全体の93.4%を占めている。これを水源別(淡水)にみると、回収水が大半の88.4%を占めており、その内訳は、化学が53.9%、石油・石炭が26.5%、鉄鋼が10.9%と、この3業種で回収水全体の9割以上を占めている。

・下水道 府内における平成13年度末の下水道の普及率をみると、処理人口が88.0%で、前年度より1.7ポイントの上昇となっている。このうち、大阪市地域は100%で、全域に普及している。

また、都市下水路延長では、公共下水道への転用がすすんでいるが、都市計画決定が1万2582m、供用中が1万1982mとなっている。

### 使用電力量・契約口数の推移



### 地域別都市ガス消費量の構成比 (平成14年度)

